

整備されたまち

鷹取東第一地区 鷹取東第二地区

1 コミュニティ道路 (第二地区)

緊急時の避難路として計画された幅員14mの道路です。東西の歩道部分には線路をイメージしたタイルが整備されています。



■地域の声(鷹取東第二地区)

被災者の住宅確保を最優先課題と捉え、そこからスタートしました。人が住んでこそ街らしい街になるという考えから、区画整理を拒否して闘争するよりも、住む場を作る方を優先しました。震災直後、地元住民の行政への姿勢はけんか腰でした。しかし、話し合いを重ねていき、区画整理で新しい街となり、住みやすさが生まれてきました。1haの防災公園は統廃合で廃止された千歳小学校跡地に作られました。大きな公園は地域を分断するのではないかと懸念しましたが、そうはなりません。公園脇には交番も移転新築され、防犯に役立っています。

■地域の声(鷹取東第一地区)

区画整理では、減歩でなく私道の買収の提案をしましたが、そうはなりません。市との最初の会議はけんか状態でした。区画整理が進んで、以前から住む人と新しく住むようになった人の対面式を行いました。顔見知りになって、相互にもの言える人間関係を築くようになってきました。人と人との付き合いが大切であるので行っている行事を行っています。また、被災地同士ということで新潟県の旧山古志村地区とも交流しています。

2 コミュニティ道路 (鷹取商店街) (第一地区)

街灯のデザインは商店街の提案によるものです。赤と青のラインが入ったり、黄色のマークがあり、白い鳥が止まっています。



3 ポケットパーク・合わせの地蔵

地蔵堂の中には、山古志村から送られた木彫りの地蔵様があります。地蔵堂の奥は防災器具庫となっています。



4 日吉町ひだまり公園

公園は地元の提案をもとに整備計画が策定され、順次整備されました。



日吉町ひだまり公園(100トンの耐震性防火水槽設置)



海運双子池公園

5 海運双子池公園



8 戸崎通公園

戸崎通公園ワークショップ「こんな公園がいいな。」を行いました。整備計画案については、現地に1/10の大きさの花壇を作ったり、1/100の大きさの公園模型をつくるなどして決定していきましました。また、100トンの耐震性防火水槽と防災資材倉庫が設置されています。



住民による花植え

7 千歳公園

統廃合で廃止された千歳小学校跡地に整備された1haの防災公園です。公園の整備内容については、建設準備会をつくって、住民と市が一体となって検討してきました。現在、公園の維持管理は、住民による公園管理会が中心となっています。地域住民だけでなく、遠方からも多くの人々が訪れています。また、100トンの耐震性防火水槽と防災資材倉庫が設置されています。



枯山水風の石組み



複合遊具



千歳小学校跡地を示す二宮尊徳像



公園脇に整備された交番



公園脇に整備された千歳地区センター



新春もちつき大会



千歳地区の盆踊り



千歳防災運動会にて

6 若松鷹取公園

公園は地元の提案をもとに整備計画が策定され、道路を挟む2つの公園を一体的に利用できるようにしました。また、この公園には地区内で震災の犠牲になった人々のための慰霊碑と区画整理事業完成記念碑が設置されています。100トンの耐震性防火水槽と防災資材倉庫が設置されています。(防災資材倉庫は他の公園にも設置されています。)



事業完成記念碑



慰霊碑